

◇あの日東ホルカムの唐鎌が、「CrushBox REAL HYBRID」データ破壊装置のシェアレンタル・プラットフォームを都内に開設！

所有より共有、データ消去シェアリング需要拡大に対応。

日東造機グループの日東ホルカム(東京 R&D 事業所:東京・墨田、代表取締役 唐鎌益男)は、都内に「CrushBox シェアレンタル・プラットフォーム」を開設し、ITAD 事業者が行うシェアリングエコノミーを、新商品の REAL HYBRID DB-70HB-HK(複合物理破壊装置)を活用した、「移動・スキル・モノ」のシェアレンタルを2022年7月7日より開始します。

◇日東ホルカム「シェアリングレンタル」3つの領域

シェアリングエコノミー(共有型経済)は、モノやスキルなど、様々なサービスを個人・企業間で共有することで成立する経済概念を指します。

世界中で急成長するシェアリングビジネス、データ消去装置を所有から共有へ

“複数台所有しているけど、全種類導入する予算がない!” “最新機種をレンタルできないか”

“自治体向けの磁気消去と物理破壊業務に応礼したいが人員が足りない”。

そこで、ITAD プロダクトイノベーション、CrushBox シェアリング プラットホームの登場です。



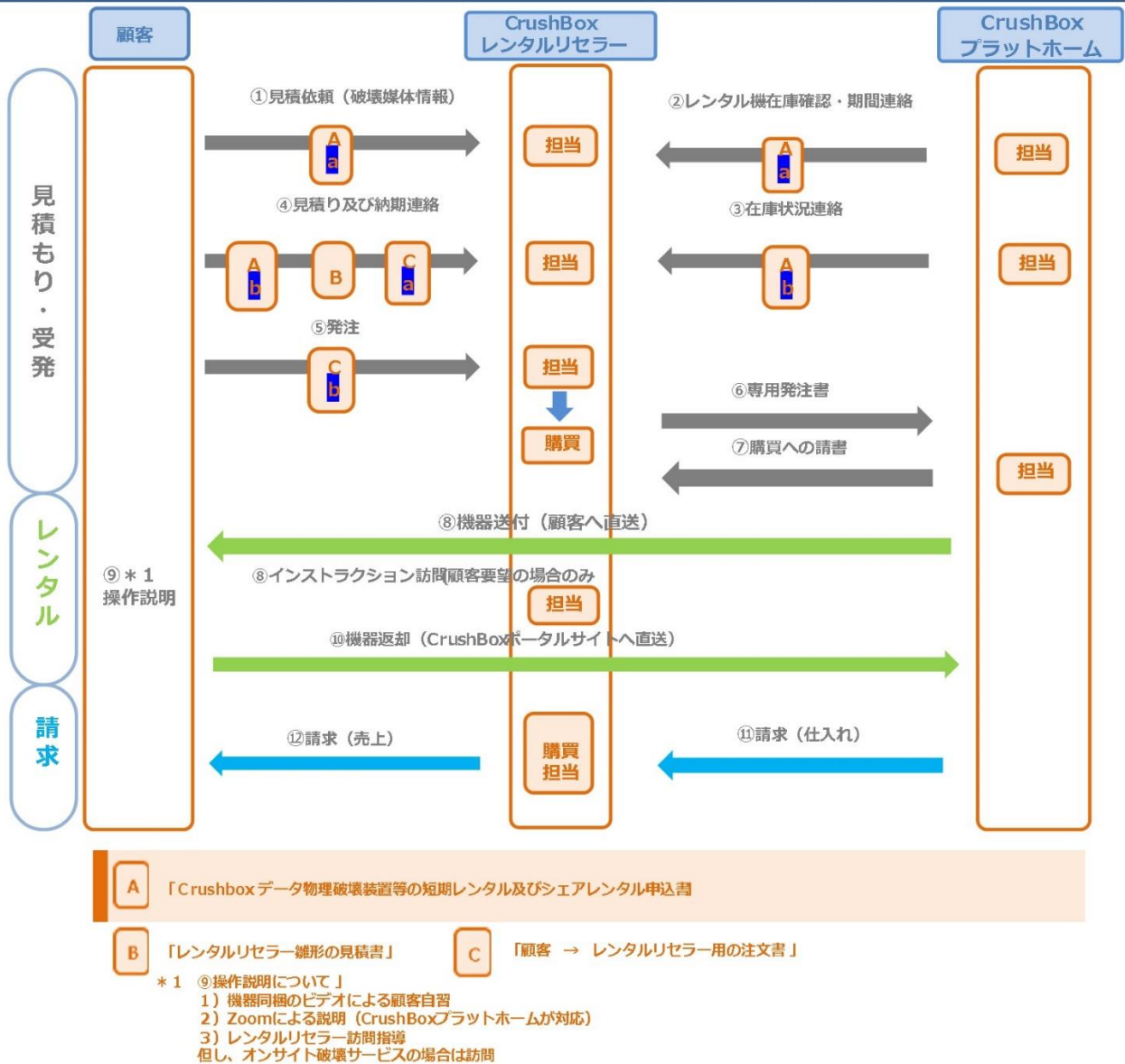
ホームページ記載 URL ↓

<https://www.nittoh-horukamu.com/crush-box-on-site-rental/>

1. 訪問・回収(移動)のシェア

HDD/SSD/LTO など出張電子記録媒体(ストレージメディア)破壊サービスのシェアレンタルサービスとは、SI 事業者、ITAD 機器のリユース(買取・寄贈)・リサイクル(手解体プロセス)を、お客様の指定地に出向いて複合物理破壊サービスを行い、排出、運搬、報告にかかったコストを CrushBox レンタルリセラー(連携者)とシェアリングするソリューションサービスです。

● CrushBox レンタル・シェアレンタルフロー



2. スキル(データ消去技術/5W2H2C ハイリスクアプローチ)のシェア

日東ホルカムは、データ消去（物理破壊消去）とパソコン等の手解体処理を行う技術を有しています。

ITAD（IT 資産の適正処理）は、IT 資産の処分を安全・安心・環境に配慮し、データ消去・買取・リユース・リサイクルを提供するサービスです。

神奈川県庁の HDD 廃棄事故以来、不要となった情報機器の適切な処理が必要不可欠となり、データ漏洩に対するリスクや課題が残る昨今、CrushBox サービスリセラー企業は、全国で認定者が 100 人を超えるなど、都市部だけではなく地方にも拡大しています。

ホームページ記載 URL ↓

<https://www.nittoh-horukamu.com/crush-box-sharing-destruction-service/>

RENTAL MENU

①HDB-15 /HDB-25	③DB-25 II /DB-35Ⅲ	⑤DB-60PRO	⑦DB-50SSD	⑨MB-20 II /MB-25Ⅲ
②HDB-30V	④DB-50PRO	⑥DB-60PRO-HSP	⑧DB-80SSD-HO	⑩DB-70HB-HK1



3. モノ（新商品 DB-70HB-HK1 を含む CrushBox 全種類）のシェア

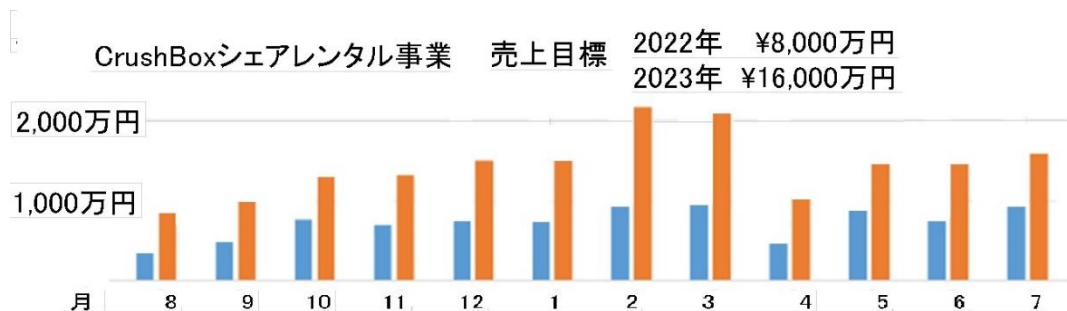
CrushBox シリーズは、発売以来20年連続シェアNo.1を継続している業界のデファクトスタンダード製品です。日立、富士通、NEC、IBMなどの全てのパソコン・サーバー、ストレージ機器メーカーや、世界のITAD事業者採用されていて、動力性能（3つの破壊手法、破壊完了時間）は他社比3~10倍のコストパフォーマンスを誇ります。

日東ホルカム株式会社は、日東造機 CrushBox シリーズの国内外への販売・レンタル・シェアサービスを通じてITAD事業者との新たなシェアレンタルビジネスを推進して参ります。

シェアレンタル機材↓(CrushBox 通販サイト参照)

<https://www.nittoh-horukamu.com/crush-box-online-shop/>

◇売上目標



◇補足説明

■東京R&D事業所は、日東造機が製造するデータ破壊装置「CrushBox（クラッシュボックス）」のショールームとして機能しながら、法人営業、通販、レンタルに加え、データ消去シェアリング需要拡大に対応する新たなソリューションとして、物理破壊装置の顧客満足度を高める各種アダプタを発売し実用新案も取得しました。



■日東ホルカムは、千葉県茂原市に本社工場を置く日東造機グループの会社で、小型モーター、コイル・アッシー等の電子部品を製造する株式会社日東電機と、情報記録媒体(ストレージメディア)を物理的に破壊する「Crush Box(クラッシュボックス)」を製造する三央工業株式会社をはじめ、世界市場に向けた製品を提供する革新者であり、多くの特許技術を有している。

< 特許 >

1. Crush Box (クラッシュボックス) 商標登録済み。(日東造機株式会社)
2. HDD/SSD/LTO 等の物理的な破壊 (圧壊装置)、様々な特許取得済み。(三央工業)
3. 物理破壊装置の運用管理、国際特許取得 特許番号：第 6734498 号 (日東ホルカム)
4. HORUKAMU (ホルカム) 商標登録済み。(日東ホルカム)
5. 5W2H2C ハイリスクアプローチ 商標登録済み。(日東ホルカム)
6. 情報記録媒体破壊装置用のアダプタ 実用新案登録 第 3237647 号(日東ホルカム)



■関連画像

1. HMC (ハイドロモーションコントロール) 特許技術
2. 磁気消去と物理破壊された HDD プラッター
3. 破壊証明書
4. キッズ向けのイベント SDGs 活動
5. 世界初の初期型 SSD 破壊機は 2011 年に発売
6. ドリルと情報セキュリティ

日東ホルカム株式会社 東京 R&D 事業所

〒130-0014 東京都墨田区亀沢 2-4-10 コーポリヴァーストン 101

電話:03-6240-4555 FAX:03-6240-4566

代表取締役 唐鎌益男

この件の問い合わせは

広報・唐鎌 (カラカマ) : info@nittoh-horukamu.com

<https://www.nittoh-horukamu.com/>

電話:03-6240-4555 FAX:03-6240-4566